

おんなカレッジ！ 行こうぜ！

昨年12月に地域の集いの場として新たなスタートを切った農村環境改善センター。このリニューアルをきっかけに、住民が主体となったイベントや講座、作品展などを行う「えべおつ市民大学『乙なカレッジ』」が開学に向けて取り組みを進めています。ここでは、思わずワクワクしてしまう計画の数々を江部乙の名物(?)キャラクター「メタボタイガー」がご案内！みんな！「乙カレ」で会おうぜ！！

メタボタイガーとは...

江部乙のイベントや事業に出没し活躍している覆面レスラーだ！いつか「乙カレ」でもその華麗な技を披露してくれるかも？！

6/19 開学式・記念講演会

元気な学生たちと共に江部乙を盛り上げてくれる國學院大學北海道短期大学の舩井雄一教授が講演をしてくれるぞ！

↓北辰小学校



江部乙小学校元校長のト部信臣さんが、江部乙の学校に関するさまざまなお話をしてくれるぞ！

7/17 えべおつ学 vol.1 「北辰の学び舎」

今後の開催情報は、農村環境改善センターの掲示板や広報たきかわのほか、FacebookやLINE等各SNSで配信予定だ！

問合先 江部乙支所 Tel.75-2131

9/18 匠の技 「果実酒づくり」

地元のおいしいフルーツを自分で果実酒にしちゃおうぜ！
おうち時間の充実にぴったりだ！

「地域に開かれた学校」として不登校ゼロを成し遂げた大阪の公立小学校をテーマにしたドキュメンタリー映画だ！

11/3 映画「みんなの学校」上映・講演会

10/16 クラシックコンサート 「ある風景の記憶」

江部乙出身の津留崎直紀さん、杉山京さんご兄妹とそれぞれの配偶者4人で奏でる弦楽四重奏！江部乙小唄や江部乙中学校校歌も聞けるかも！

ほくしん☆ぎやらりー Coming Soon!

市民の皆さんの写真や絵画などを展示する「ほくしん☆ぎやらりー」が誕生!! 北辰(北極星)のようにキラリと輝く作品をお待ちしています(詳細は6月号に掲載予定)。

「ふるさと」とは

「なぜ江部乙はここまで愛されるのか」今回の特集では、江部乙に関わる方々にお会いし、その魅力について探ってきました。取材の中で改めて知り驚いたことは、江部乙を愛し盛り上げている方々の中には、江部乙出身ではない方が多くいらっしゃるということ。生まれや育ちに関わらず、誰の「ふるさと」にもなりえる懐の広さ。また、江部乙の魅力のひとつなのかもしれません。

「ふるさととは山でも川でもない事が分かってきました。自分の過去を記憶して呉れる人々の住んでいる処。それがふるさとです」という岩橋英遠の言葉があります。江部乙の豊かな自然が育んだ、おらかで、柔軟で、好奇心・チャレンジ精神に富む人々、そして『集まらさって来た』人々。ないもの、できないことばかりを数えるのではなく、今あるもの、できることの良さを見出し、大切に磨き続けている人々こそが江部乙を「ふるさと」として輝かせています。行って、見て、会って、学んで、体験して、「自慢できちゃうみんなのふるさと・江部乙」の魅力を再発見してみませんか。えべおつディスカバリー おわり

魅力あふれるえべおつ

さまざまな魅力にあふれる江部乙。その中でも「自然」「文化・芸術」「コミュニティ」の3つの魅力について紹介します。あなたも「江部乙の魅力」を体感し、こんなにすてきな地域があることを大切な人に自慢してみませんか。

四季の自然 輝く



江部乙の春は、全国的に有名となった菜の花畑を代表として、北辰の森の桜並木やオーブンガーデン、果樹園や田畑の畦まです。青々と花々が咲き乱れた麦の海にのどかな放牧風景と黄金色の稲穂と赤く輝くリンゴ、立ち込める雲海、紅葉から白銀へのグラデーションなど、四季の移り変わりとともに自然と里山が織りなす丘陵地の美しい景色は、アウトドアファンや写真愛好家にも親しまれています。

江部乙の美しい自然を気軽に満喫できる「フットパス」が現在人気を呼んでいます。「江部乙丘陵地のファンクラブ」が主催するフットパスは丘陵地の魅力を知り尽くした会員の案内によって、植物や野生動物の観察、果物狩りやスノーシュー散策を楽しむことができます(詳しい内容はP.13参照)。

5月には菜の花巡りフットパスと春の森の自然観察会を行います。美しい春を一緒に楽しみましょう！



江部乙丘陵地のファンクラブ 藤岡 哲雄さん

※フットパスとは自然や街並みを楽しみながら歩くことができる小径のことで、最近では景観を楽しみながら歩くアクティビティの意味で使われています。

文化と芸術 薫る



江部乙は多くの文化人、芸術家を育んできた地域としても知られています。日本画壇の重鎮である岩橋英遠をはじめ、洋画家のいちき万寿三、俳人の榛谷美枝子など各方面で著名な方々の名前が並びます。なぜこれほどまでに芸術的な才能を育て上げたのか。出身者の作品や記述からは、インスピレーションを刺激する豊かな情景に加え、芸術を身近なものとして受け入れ、それを志す若者を見守り後押ししてきた地域性あつてのことではないかと想像することができます。

農村環境改善センター内の「あーと&ひすとリーぼくす」は江部乙出身の著名人について資料とともに知ることができます。厳しくも美しい自然、その中で生きる人々の姿や思いを土台として、農村に花開いた芸術の息吹を感じてみませんか？

ふとしたときに「今自分が絵画の光景の中にいる」と感じられる江部乙の魅力が創作の力となっています。



江部乙で活動を行う画家 結梗 智恵美さん (手にしているのは紙芝居「岩橋英遠物語」)

「駅カフェ」は、住民からなる「江部乙まちコミ隊女子部」と國學院大學北海道短期大学の学生の協力により毎月開催しているイベントで、地域に根ざした集いの場となっています。コミュニティが主体となった地域活性化の例として、さまざまな方面から注目されています(詳しい内容はP.13参照)。



江部乙まちコミ隊女子部の皆さん

人と人が繋がる



住民活動が盛んな江部乙は、地域住民だけではなく、移住者や地域外の若者も積極的に参加して地域を盛り上げているという特徴があります。昨年からコロナ禍にあっても工夫と努力、アイデアをもって、さまざまな活動を続けてきました。「人が集まって何かをしなくなる」という江部乙の魅力は、さらなる人と人のつながりを広げていきます。